

4  
上三十一  
聖徒伝 225

# 主をおそれつつ 希望を告げよう

エレミヤ書 4章

滅びの宣告・苦難の幻

# アウトライン

## 0. イントロダクション

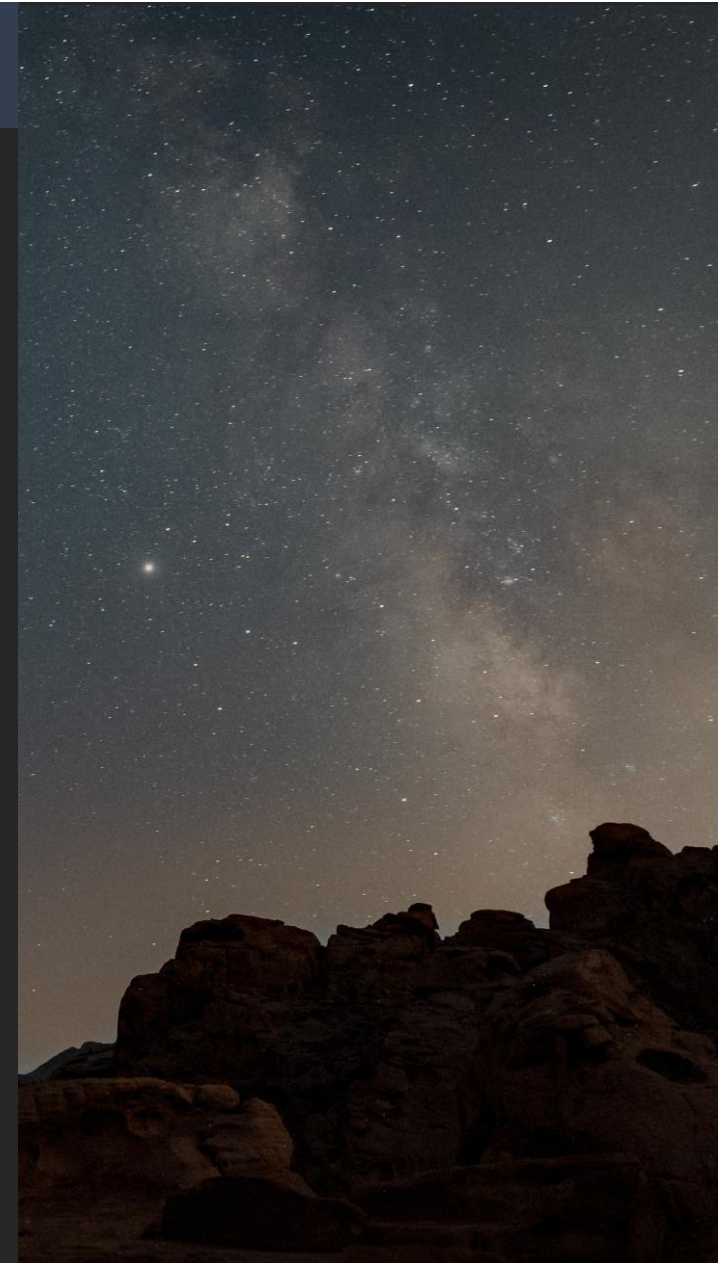
I. 南王国への滅びの宣告 4:1~18

II. 世の終わりの苦難の幻 4:19~31

## III. まとめと適用

主をおそれつつ

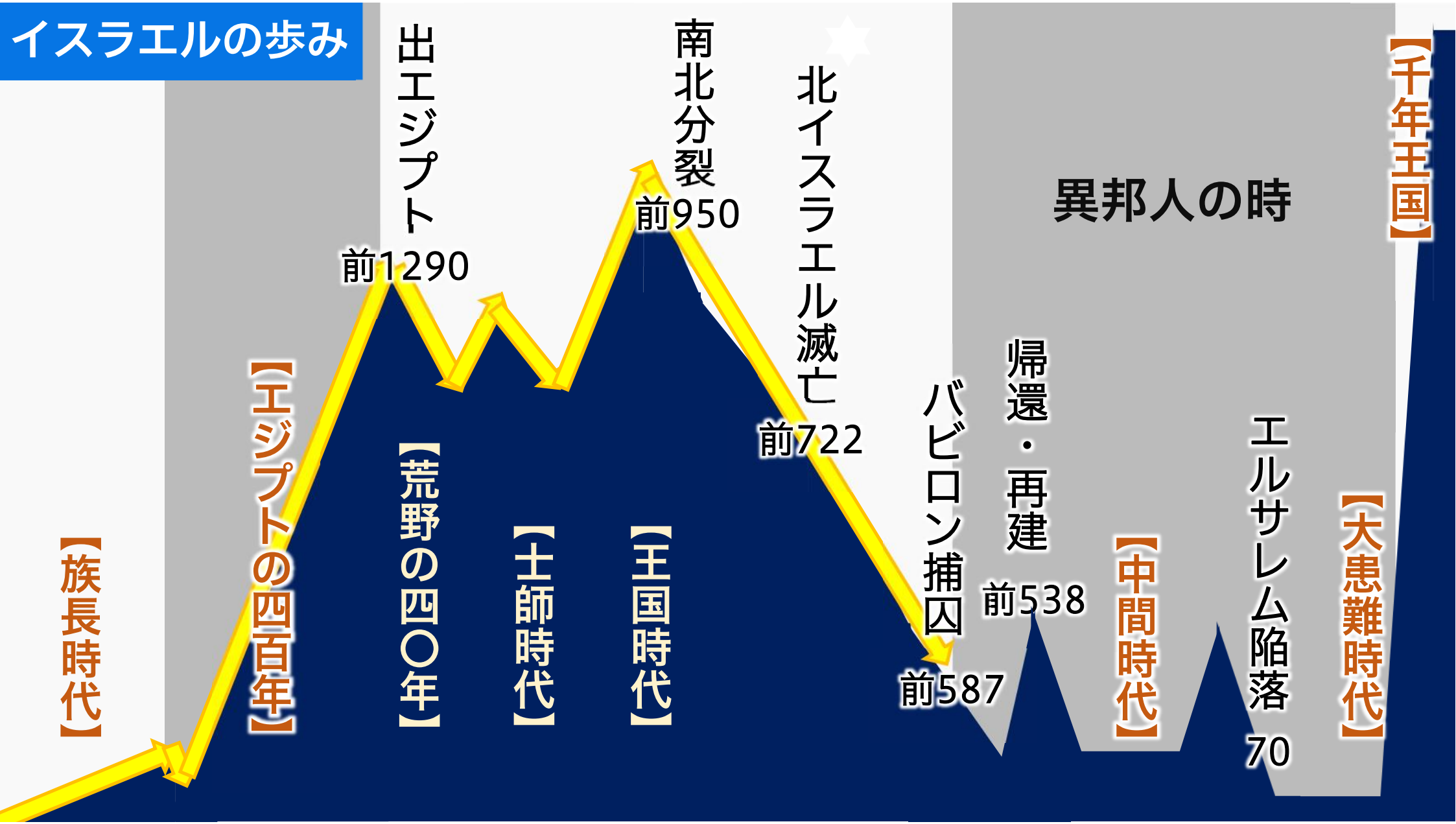
希望を告げよう



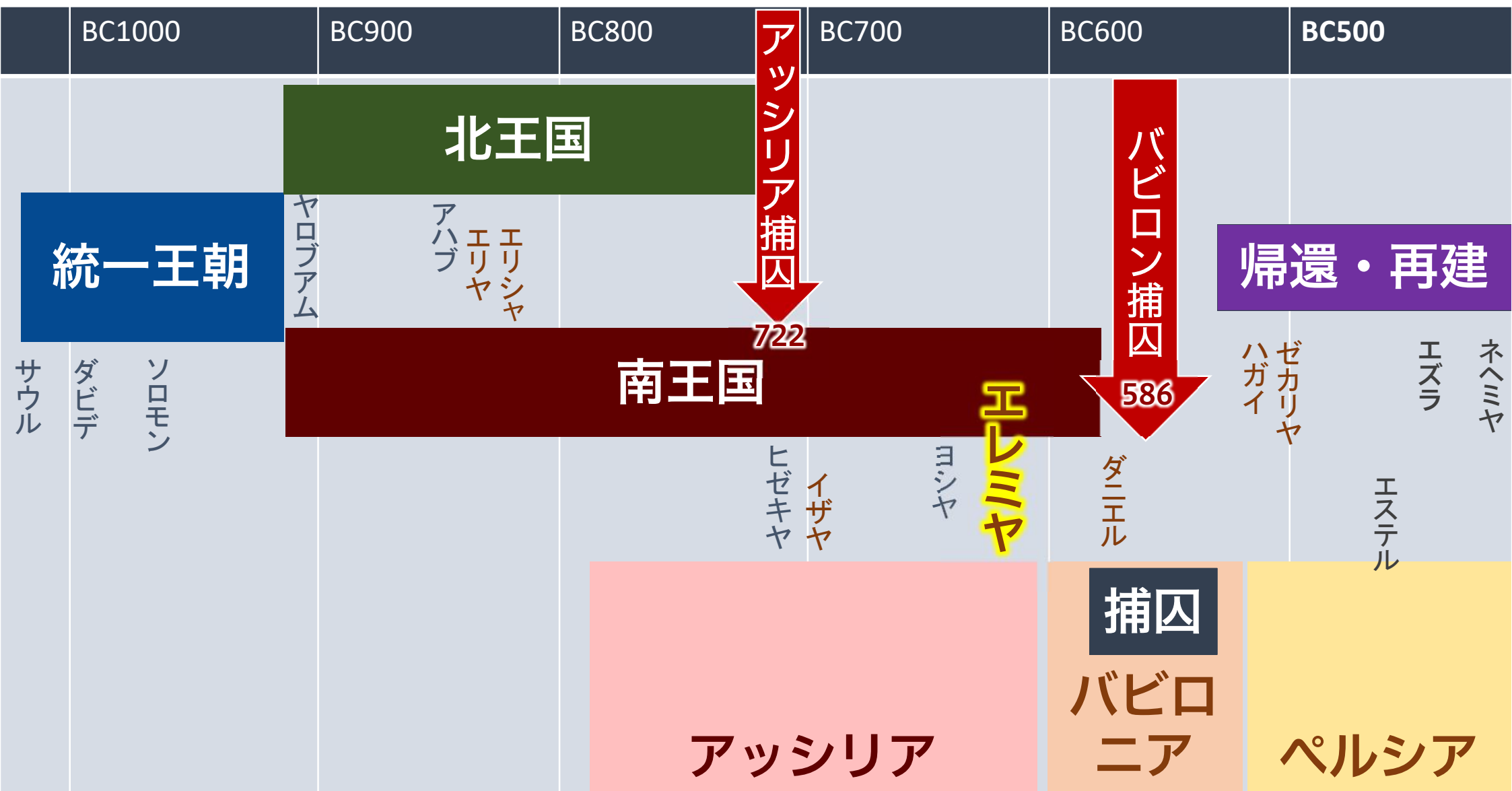


## 0. イントロダクション

# イスラエルの歩み



# イスラエル王国史



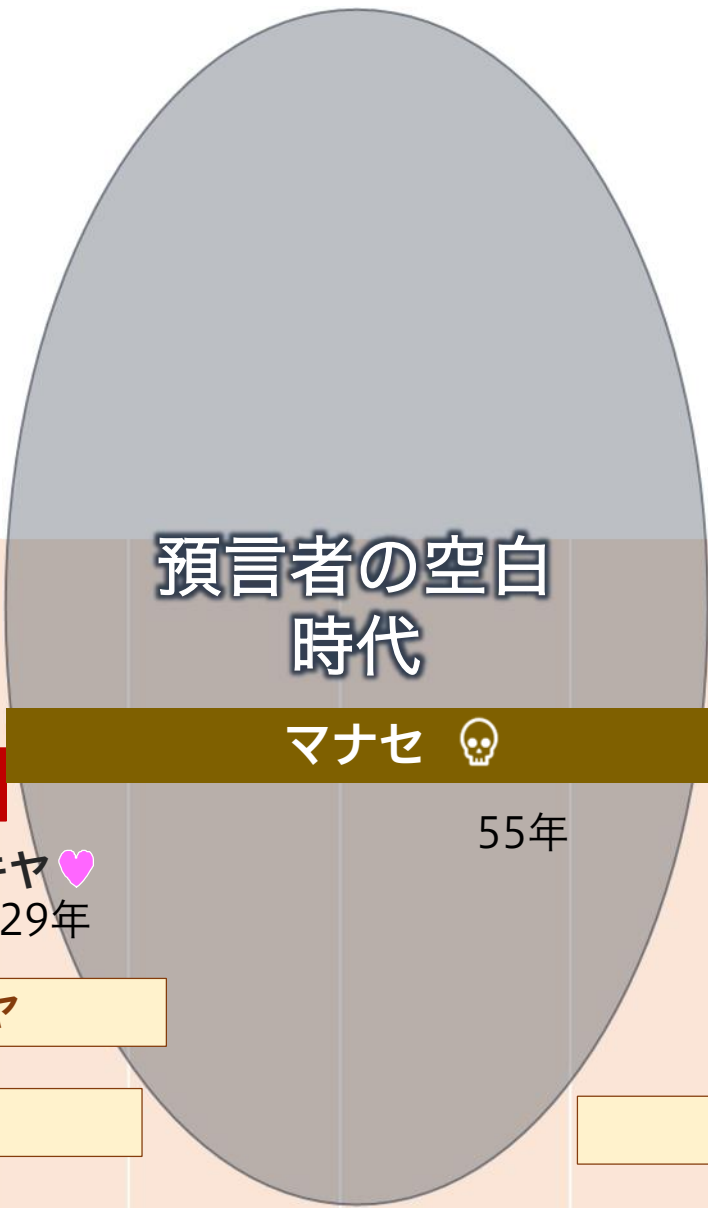
北王国  
イスラエル

南王国  
ユダ

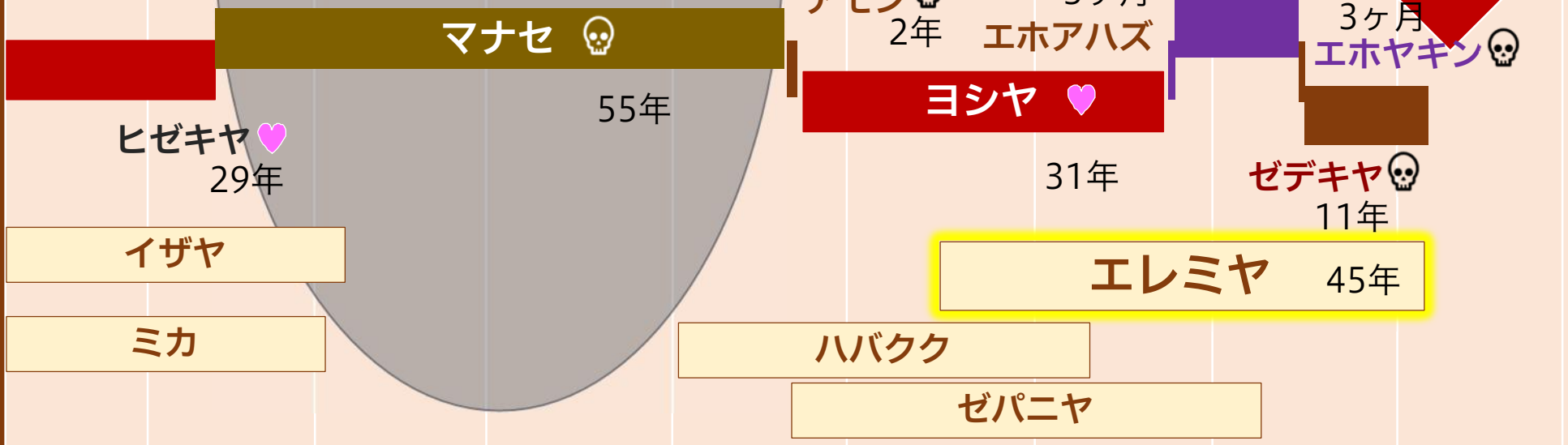
アッシリア捕囚

BC722年

バビロン捕囚



預言者の空白時代



## エレミヤが召命された時代

- 最悪の王マナセの暴虐の結果、南王国の滅亡は決定的!!
- 次代のヨシヤは、最後の善王。宗教改革を実施。  
→ 南王国の滅亡は確定。覆すことはできない
- ヨシヤ王の死後は、めまぐるしく王が入れ替わり、  
ついにバビロニアの侵略、滅亡 → **バビロン捕囚**

南王国が滅びに至る時代に派遣された 涙の預言者

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】





# 【預言者たちの告げたこと】

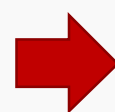


南北時代

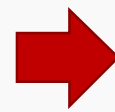


① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代



③ 回復  
メシア再臨

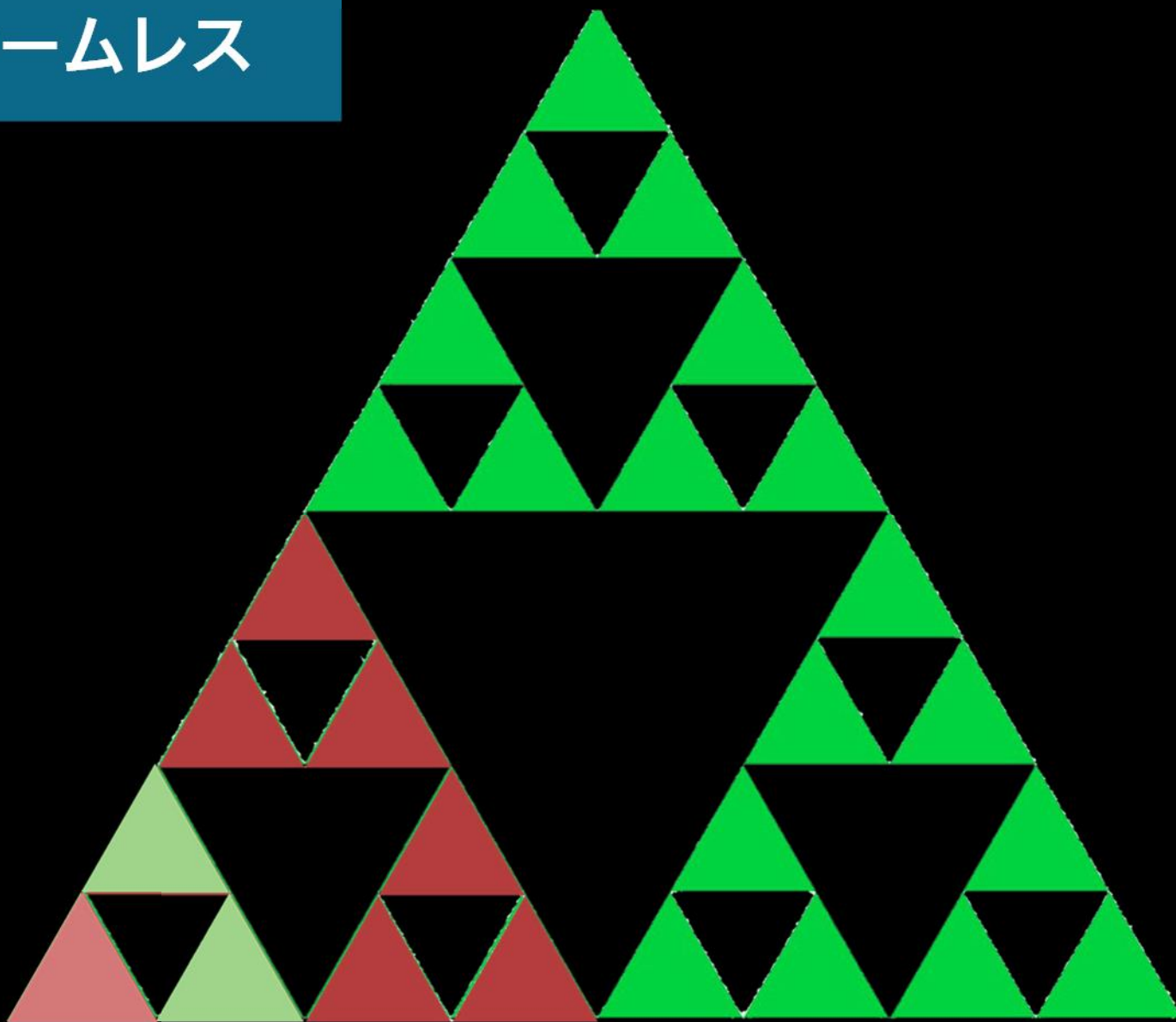
# 預言はフラクタルでシームレス

最終的回復 →

最後の裁き →

一時的回復 →

一時的裁き →





# Ⅰ. 南王国への滅びの宣告

エレミヤ書4章1～18節

シナイの荒野

## ①促し 主に帰れ エレミヤ4:1~2

「イスラエルよ、もし帰るのなら、——  
【主】のことば——わたしのもとに帰れ。もし、あなたが忌まわしいもの\*をわたしの前から取り除き、迷い出ないなら、また、あなたが真実と公正と義によって『【主】は生きておられる\*』と誓うなら、国々は主によって互いに祝福し合い、互いに主を誇りとする\*。」

\*偶像

\*イスラエルが身をもって知らされること

\*イスラエルの民族的回心が世界の救いに



## ①促し 心を耕せ エレミヤ4:3~4

まことに、【主】はユダの人とエルサレムに、こう言われる。「耕地を開拓せよ。茨の中に種を蒔くな\*。ユダの人とエルサレムの住民よ。

【主】のために割礼を受け、心の包皮を取り除け\*。そうでないと、あなたがたの悪い行いのゆえに、わたしの憤りが火のように出て燃え上がり、消す者もいないだろう。」

\*偶像礼拝の浸食。世の思い煩い(マタ1:37)

神の民に求められる、信仰の土壌作り

\*儀式でなく、信仰により真実に神の民に



## ②警告 主の都に逃れよ エレミヤ4:5～6

「ユダに告げ、エルサレムに聞かせて言え。国中に角笛を吹け。大声で叫べ。『集まれ。城壁のある町に逃れよう\*』と。

シオンに向けて旗を掲げよ。自分の身を守れ。立ち止まるな。わたしが北からわざわいを、大いなる破滅をもたらすからだ。

\*エルサレムにある主の臨在の内に逃れよ。

\*南王国・ユダの旗。自らの所属を示すもの

■ 都に上るのは、主の裁きを受ける備え

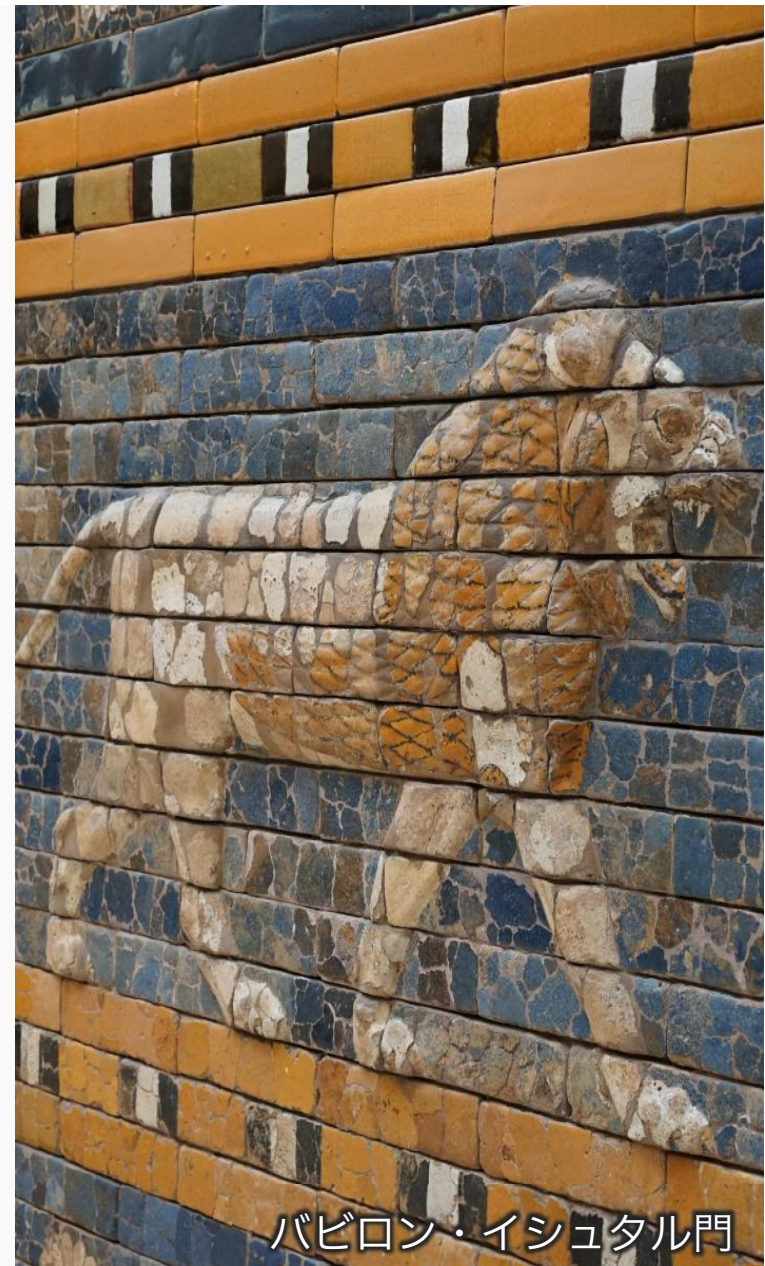


## ②警告 民の嘆き エレミヤ4:7～8

「獅子\*はその茂みから立ち上がり、国々を滅ぼす者はその国から出て来る。あなたの地を荒れ果てさせるために。あなたの町々は滅び、住む者はいなくなる。」このことのために、粗布をまとめて悲しみ嘆け。【主】の燃える怒りが、私たちから去らない\*からだ。

\*バビロニアの象徴

\*主の裁き(バビロン捕囚)は、すでに確定



バビロン・イシュタル門

### ③裁き 裁きの日 エレミヤ4:9

「その日\*には——【主】のことは——王の心や、高官たちの心は萎え、祭司は啞然とし、預言者はたじろぐ」

\*主の裁きの日…究極が大患難

■主の裁きの前には、誰もが無力。

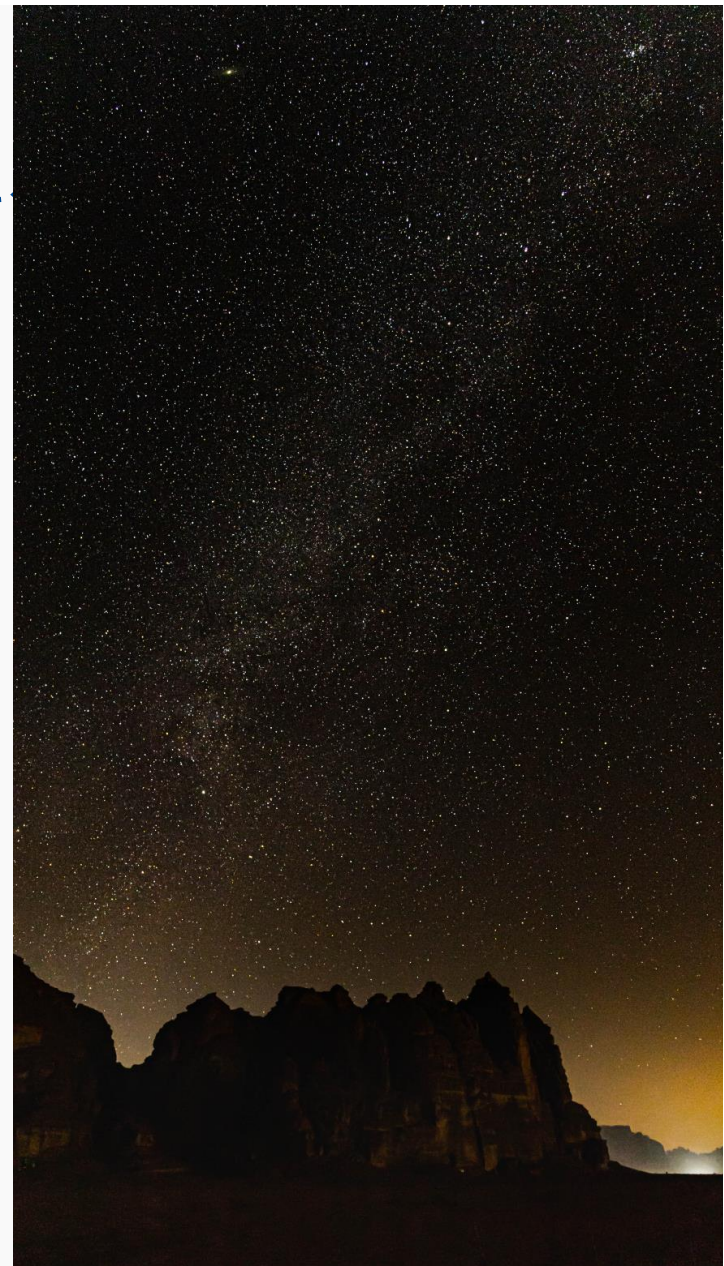




## ④ 災い 目の前の危機 エレミヤ4:10

私は言った。「ああ、【神】、主よ。まことにあなたはこの民とエルサレムを完全に欺かれました。『あなたがたには平和が来る\*』と言われたのに、剣が私たちの喉に触れています。」

\* 真実の平和をもたらすのは、メシア



## ④ 災い 主の災い エレミヤ11:11~12

それゆえ——【主】はこう言われる——見よ、わたしは彼らにわざわいを下す。彼らはそれから逃れることができない。彼らがわたしに叫んでも、わたしは聞かない\*。

ユダの町々とエルサレムの住民は、自分たちが犠牲を供えている神々\*のもとに行って叫ぶだろうが、これらは、彼らのわざわいの時に、決して彼らを救わない\*。

\*偶像の神々

\*主の裁きの厳正さ



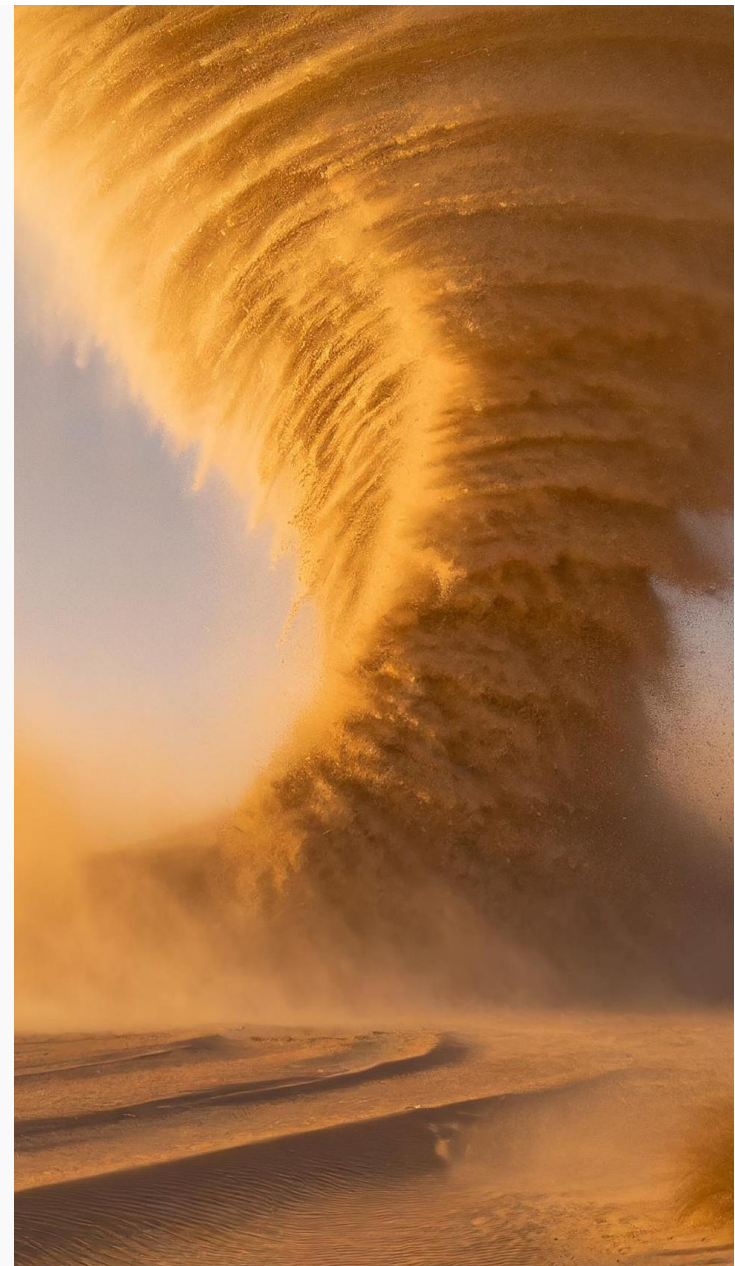
## ⑤裁き 速やかな裁き エレミヤ4:13

見よ、それは雲のように\*上って来る。その戦車はつむじ風\*のよう。その馬は驚よりも速い。ああ、私たちは荒らされる。

「エルサレムよ。救われるために、悪から心を洗いよめよ。いつまで、自分のうちによこしまな思いを宿らせているのか。」

\*大軍のように(エゼ38:9他)

\*神の裁きを示す(エレ30:23他)



## ⑤裁き 災いの告知 エレミヤ4:15～16

ああ、ダン\*から告げる声がある。エフライムの山からわざわざを告げ知らせている。

国々に語り告げよ。さあ、エルサレムに告げ知らせよ。包囲する者たちが遠くの地から来て、ユダの町々に対して、ときのをあげる。

\*イスラエル最北。最初にアッシリアに侵略。  
バビロニアの侵略も北方から。

■北王国に続き、南王国にも滅びが迫る。



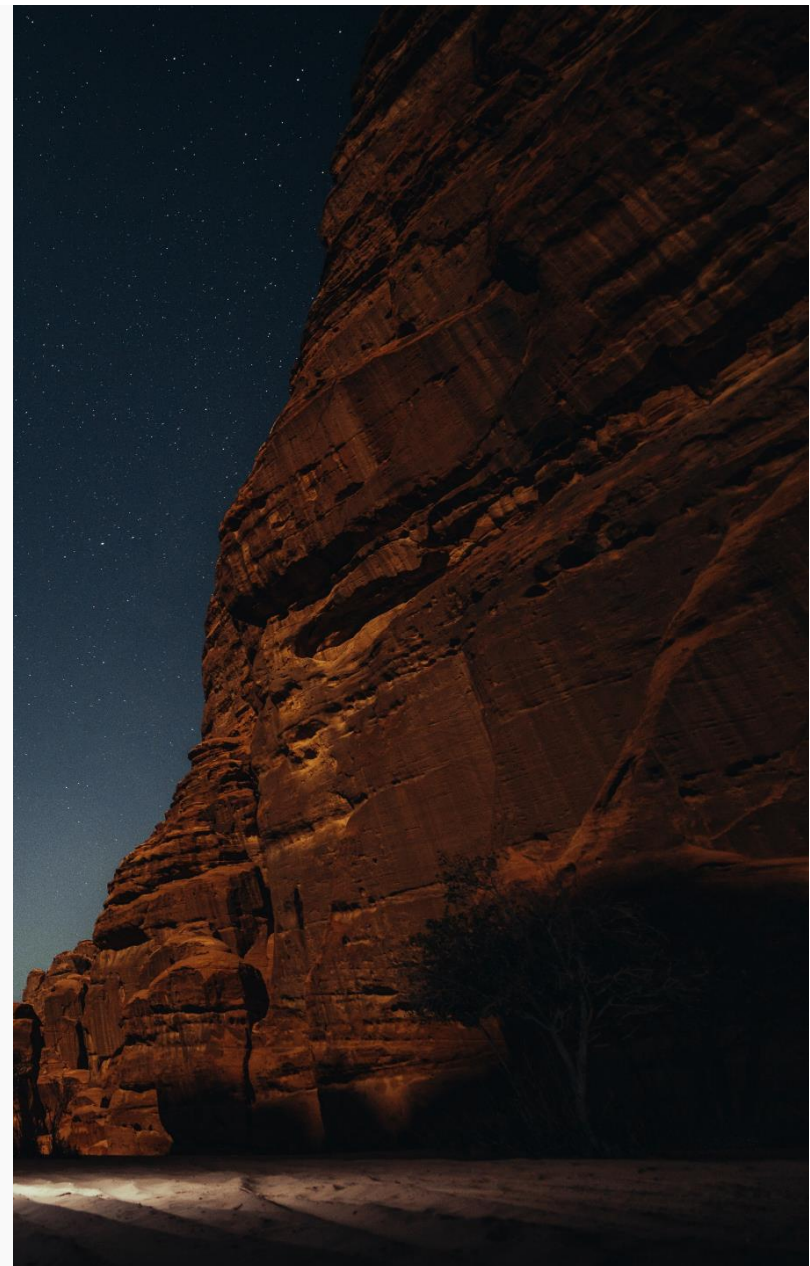
## ⑤裁き 致命傷 エレミヤ4:17~18

彼らは畑の番人のように、ユダを取り囲む。  
それは、ユダがわたしに逆らったからだ。

——【主】のことば——

あなたの生き方と、あなたの行いが、あなたの身にこれを招いたのだ。これはあなたへのわざわいで、なんと苦いことか。もう、あなたの心臓にまで達している\*。」

\*南王国の滅亡は必至





## II. 世の終わりの苦難の幻

エレミヤ書4章19～31節

## ⑥ 呻き 身悶え エレミヤ4:19

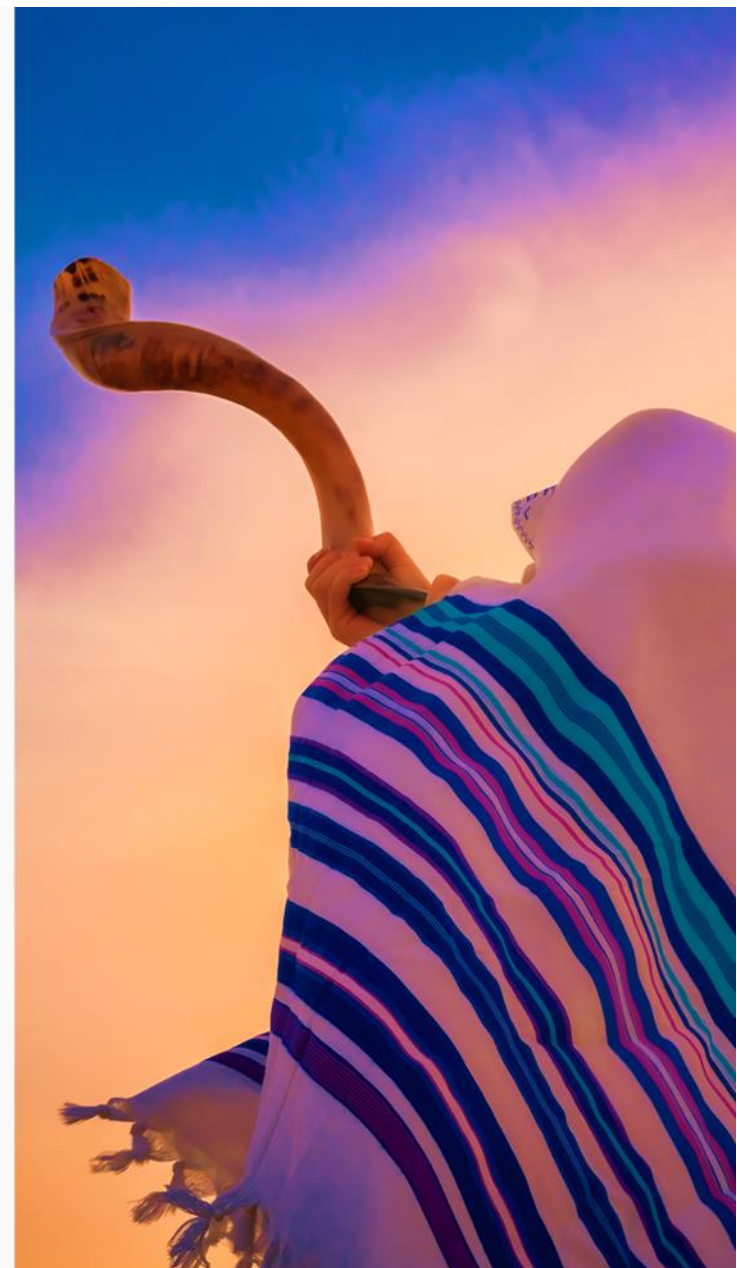
私のはらわた、私のはらわたよ、私は悶える。  
私の心臓の壁よ、私の心は高鳴り、私は黙っ  
ていられない。私のたましいが、**角笛の音と  
戦いの雄叫び\***を聞いたからだ。

**\* 敵襲を知らせる角笛、敵の上げるときの声。**

■ 裁きの災いの預言を告げるエレミヤは、  
身も心も打ち震えている。

➔ 自ら痛みをもって告げる裁きの預言

■ ここから告げられるのは、終末の裁き



## ⑥呻き 破滅に次ぐ破滅 エレ4:20～21

破滅に次ぐ破滅\*が知らされる。まことに、地のすべてが荒らされる\*。突然、私の天幕が、一瞬のうちに私の幕屋が荒らされる。

いつまで私は旗\*を見て、角笛の音を聞かなければならないのか。

\*城壁の外にひるがえる、敵の軍勢の旗





## ⑦嘆き 茫漠と闇 エレミヤ4:22~23

「実に、わたしの民は鈍く、わたしを知らない。  
愚かな子らで悟ることがない。悪事を働くこと  
には賢く、善を行うことを知らない」

私が地を見ると、見よ、茫漠として何もなく\*、  
天を見ると、その光はなかった。

\*トーフー・ア・ボーフー(創1:2と同じ)

「茫漠としたものとして創造せず(イザ45:18)」

■エレミヤは、人の罪が生んだ茫漠と闇を見た。

➔混沌と裁きから、神による新創造へ



## ⑦嘆き 驚天動地 エレミヤ4:24～25

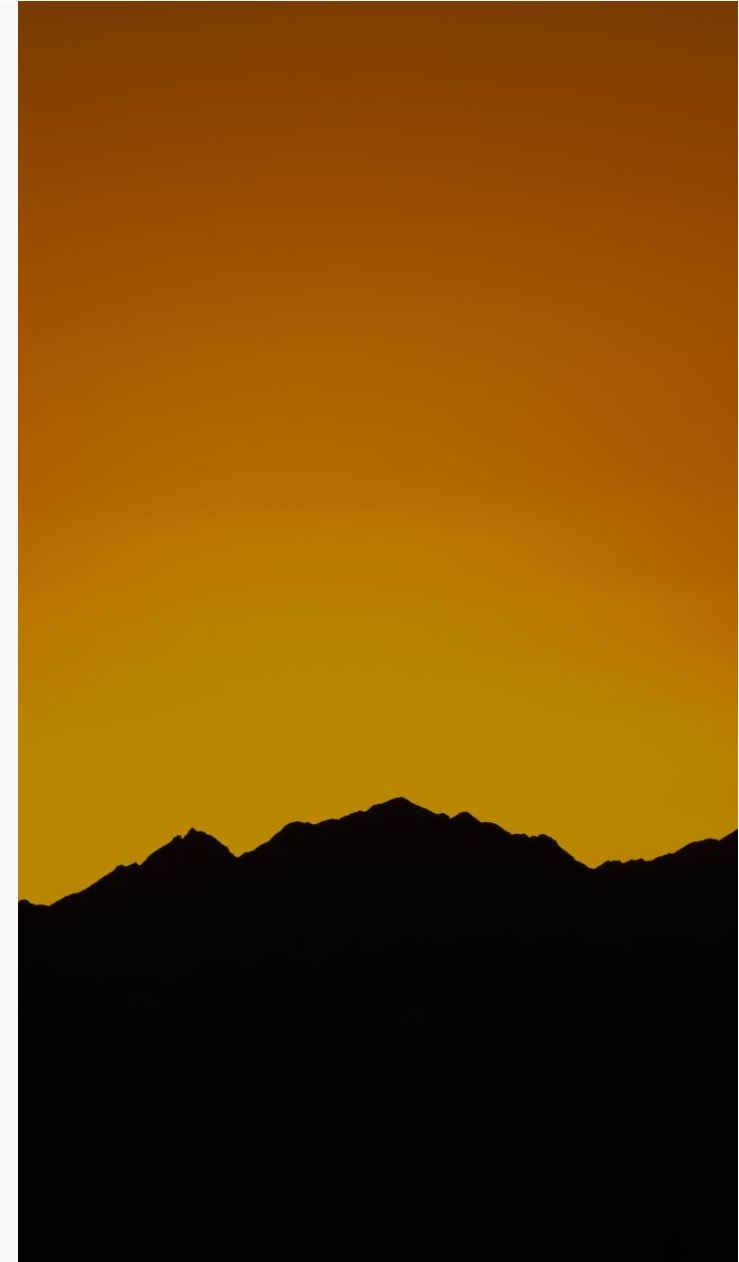
私が山々\*を見ると、見よ、それは揺れ動き\*、すべての丘は震えていた。

私が見ると、見よ、人の姿はなく、空の鳥もみな飛び去っていた。

\*「ああ、あなたが天を裂いて降りて来られると、山々はあなたの御前で揺れ動きます。

イザヤ64:1」

■明確に告げられる主の日の裁き



## ⑦嘆き 荒廃 エレミヤ4:26～27

私が見ると、見よ、豊かな地は荒野となり、町々は【主】の前で、その燃える怒りによって打ち壊されていた。

まことに、【主】はこう言われる。「全地は荒れ果てる。ただし、わたしは滅ぼし尽くしはしない\*。」

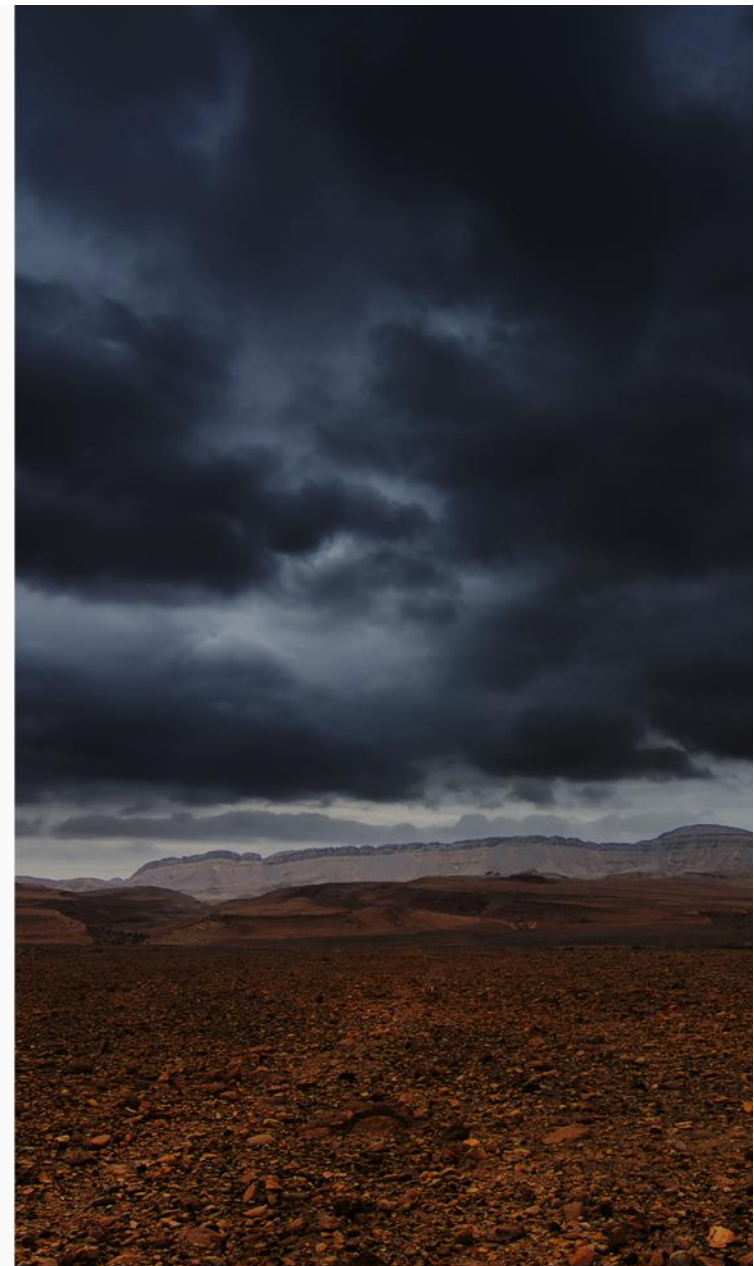
\*大艱難には、全世界の2/3が破壊  
全人類の2/3が死滅(黙示録)



## ⑦嘆き 主の企て エレミヤ4:28

「このため地は喪に服し、上の天は暗くなる。  
わたしが語り、企てたからだ。わたしは悔い  
ず、やめることもしない\*。」

\*世の終わりの裁きも確定。



## ⑧ 殲滅

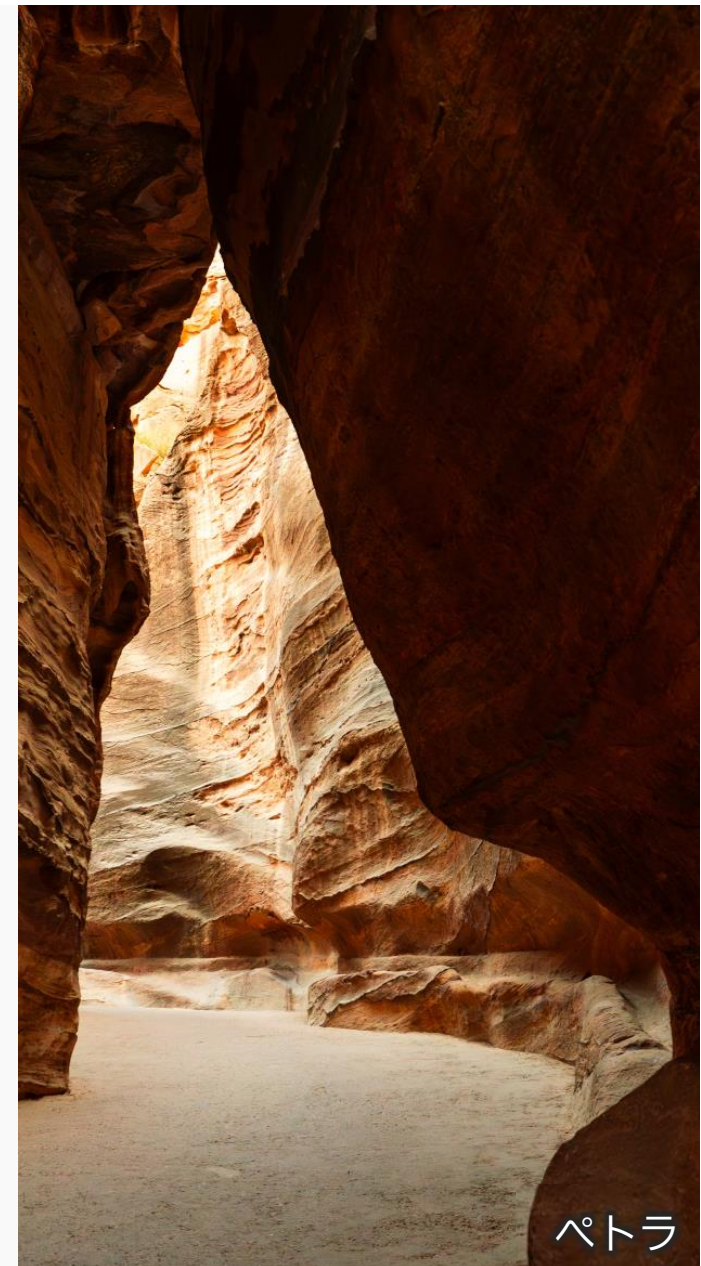
### 民族殲滅の危機 エレミヤ4:29～30

騎兵と射手の雄叫びに、町中の人々は逃げ去り、草むらに入り、岩によじ登った。すべての町が捨てられ、そこに住む人はいない。

踏みにじられた女\*よ、あなたはいったい何をしているのか。緋の衣をまとい、金の飾りで身を飾りたて、目を塗って大きく見せたりして。美しく見せても無駄だ。恋人たち\*はあなたを嫌い、あなたのいのちを取ろうとしている。

\*イスラエル \*異邦人(反キリスト)の侵略軍

■イスラエルも2/3が死滅。民族抹殺の危機に。



ペトラ

## ⑧ 殲滅 絶望の叫び エレミヤ4:31

「まことに、私は、産みの苦しみにある女のような声、初子を産む女のようなうめき、娘シオンの声を聞いた。彼女はあえぎ、手を伸ばして言う。「ああ、私は殺す者たちの前で疲れ果てた。」

- 民族殲滅の危機に至ったイスラエルは、民族的回心へ

絶望の先の希望はメシアにある



## イスラエルの民族的回心

### ■ゼカリヤ書12:9～10

その日、わたしはエルサレムに攻めて来るすべての国々を根絶やしにしよう。

わたしは、ダビデの家とエルサレムの住民の上に、恵みと嘆願の霊を注ぐ。彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見て、ひとり子を失って嘆くかのように、その者のために嘆き、長子を失って激しく泣くかのように、その者のために激しく泣く。

**栄光の主イエスが再臨、敵を裁き、神の王国を建設**



Ⅲ. まとめと適用

主をおそれつつ 希望を告げよう



## 定められた二つの裁き

① 偶像礼拝に陥った、イスラエル、ユダへの裁き

→ アッシリア捕囚、バビロン捕囚

② イスラエルへの最終的裁き

→ 大艱難時代。反キリストによる民族抹殺。最終戦争

■ 捕囚からの回復は一時的。今に至るまで続く苦難。

希望は、主の日におけるメシアによる裁きと救い。神の王国。

**聖書が告げる希望は、一貫して終末的希望**

## 今は、産みの苦しみの時代

「民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、あちこちで地震があり、飢饉も起こるからです。これらのことは産みの苦しみの始まりです。マルコ 13:8」

■世界は、産みの苦しみの時代に突入している。

かつてなく、世の終わりは近づいている。

→携挙 →大艱難 →再臨 →神の王国(千年王国)

## 今の時代に遣わされた信仰者への変わらぬ命令

「神の御前で、また、生きている人と死んだ人をさばかれるキリスト・イエスの御前で、その現れとその御国を思いながら\*、私は厳かに命じます。

みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりとやりなさい。忍耐の限りを尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。Ⅱテモテ4:1~2」

\*今の時代に思うべきは、再臨の裁き主であるイエス・キリスト

**終末的希望をもって、福音宣教の使命に遣わされる**

## 背教の時代に

「というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがつて自分たちのために教師を寄せ集め、真理から耳を背け、作り話にそれて行くような時代になるからです。 II テモ4:3~4」

■ ネット時代に加速するキリスト教界の混沌。

…権威への恐れのない。自分が主。究極の偶像礼拝。

例) 主への恐れなき、自由な教会、礼拝？自由が楽しい？

福音派にもいつの間にか侵食する、リベラルの価値観

パリ・オリンピック開会式…LGBTQの最後の晚餐

## 背教の時代の変わらぬ使命

「けれども、あなたはどんな場合にも慎んで\*、苦難に耐え、伝道者の働きをなし、自分の務めを十分に果たしなさい。Ⅱテモ4:5」

\*主の前に慎み、罪人に過ぎない己をわきまえ知る。救いは恵み。

\*地上を生きる信仰者には苦難がある。

■世の混沌がどれほど深まり、キリスト教界すら背教の嵐が吹き荒れても、この時代になすべき信仰者の使命は不変。

→ますます、福音を告げ知らせることに力を注ごう

**主をおそれ、主に従い、福音宣教の使命に遣わされよう**

## ★ ますます深まる闇の時代に ★

■ イスラエル大使館で宗教者を招待。「信じる神は同じ」。偶像礼拝、メシア拒絶の結果としての放浪はなお続く。キリスト教界の混沌の闇もさらに深まっていくだろう。

■ 身悶えして、終末の裁きを告げたエレミヤのように、栄光の裁き主をおそれ、ひれ伏し、待ち望もう。恵みの時代の続く限り、福音を告げ知らせていこう。あらゆる機会と手段を用いられる主に信頼し、委ねつつ。

**裁き主へのおそれをもって、希望の福音を告げ知らせていこう**

てん とう つみ  
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ  
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ  
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん  
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

ふくいん わたし つ し じだい きぼう  
この福音こそ、私たちが告げ知らせるべき、この時代の希望です。

やみ ふか しゅ わたし あゆ みち て  
闇がどんなに深くても、主が私の歩むべき道を照らされます。

さば ぬし こ えいこう しゅ ま のぞ  
裁き主として来られる、栄光の主イエスを待ち望みます。

みくに きぼう わたし ひび つか  
御国の希望をもって、私たちそれぞれの日々遣わしてください。

しゅ な いの  
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」